

令和8年4月中央市定例教育委員会 議事録

(1) 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時

令和8年4月3日(金曜日) 午後2時00分から午後3時00分

(2) 出席及び欠席委員の氏名

出席者 石田秀博教育長、河西忠衛教育長職務代理者、石原英一教育委員
薬袋美和教育委員、望月孝之教育委員

欠席者 なし

(3) 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名

窪田雅一教育総務課長、有泉浩貴生涯教育課長、諸星嘉史教育指導監、保坂憲一郎主幹
藤本敏也主査

(4) 出席した長及びその事務局部の職員の職氏名

なし

(5) 教育長の報告の要旨

- ・【再掲】令和8年度市内小中学校入学式への出席割当について
- ・新市教育委員辞令交付及び令和8年度第1回臨時教育委員会の開催について
- ・令和8年度学校訪問日程(案)について
- ・今後の予定(教育委員会関係)

(6) その他(事務局報告事項)

- ・中央市立学校再編協議会からの報告書について
- ・令和8年4月・5月の教育委員会関係行事予定について

(7) 協議事項

- ① 学校評価について
- ② その他
 - ・学校運営協議会への出席について
 - ・令和8年度人事異動等に伴う教育委員会職員について

(8) 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

(9) 議事の概要

別紙のとおり

(10) 決議事項

なし

(11) その他教育長が必要と認めた事項

なし

○ 議事録

教育長	会議に入る前に、人事異動の職員を紹介する。
委員	本日の会議の書記について、入室の承認を得たいと思うがどうか。 異議なし。
教育長	1. 開会、あいさつ これから4月の定例教育委員会を開会する。
教育長	2. 前回の議事録の承認 委員各位のお手元に届いている3月定例教育委員会及び臨時教育委員会の会議録について、内容等において疑義等はあるか。
委員	異議なし。
教育長	3. 報告事項 (1) 教育長からの諸報告 令和8年度市内小中学校入学式への出席割当について、新教育委員辞令交付及び令和8年度第1回臨時教育委員会の開催について、令和8年度学校訪問日程(案)について、今後の予定について説明。
委員	何か質問意見はあるか。 特になし。
事務局	(2) その他 学校施設担当藤本主査より中央市立学校再編協議会からの報告書について説明。
教育長	何か質問意見はあるか。
委員	特になし
事務局	教育総務課長・生涯教育課長より市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の4月と5月の日程について説明。
教育長	何か質問意見はあるか。
委員	特になし
教育長	4. 協議事項 (1) 学校評価について 何か意見等はあるか。
委員	両中学校ともに保護者から高い評価を得ていると感じた。特に玉穂中学校は、重点項目が整理されており、非常に分かりやすいまとめ方であった。 田富北小学校に関しては、教職員の意識の高さが伺える結果となっており、それが肯定的な評価の高さに直結していると感じた。
委員	学校評価の本来の目的(教育の質の向上、透明性の確保、改善の促進)に沿った運用が定着しつつある。従来の「アンケート結果の分析」に留まらず、課題の把握から次

教育長	<p>年度の目標設定へと繋げるサイクルが機能しており、数年前と比較して質的な向上が見られる。山梨大学の日永先生の指導もあり、多くの学校で評価のあり方に前向きな変化が表れている。他校が目的に沿った分かりやすい報告書へ改善されている中、田富北小学校のみ改善が見られず、内容が極めて簡略的である。本来の学校評価の目的を再考する必要がある、現状では「報告書」としての体を成していない。</p> <p>内容に校長の方針が反映されることは望ましいが、施設の設置者への報告義務を果たす上で、書式や報告の体裁については、一定のフォーマットを設けるべきではないか。学校評価の本質は、現状の課題を把握し、具体的な改善策を講じて次年度の目標へ繋げることにある。単なるアンケート分析に留まらず、学校経営を地域や保護者へ可視化し、教育の質を向上させる手法であるべきである。評価手法は各校の裁量に委ねられているが、「課題把握→改善策→目標設定」という体系の構築は必須である。各校の感想を述べたい。</p> <p>三村小学校は個別の対策はあるが、学校としての「目指す方向性(グランドデザイン)」が不明瞭。新たな校長のもと目標を設定し、学校経営に取り組まれることを期待する。玉穂南小学校はアンケート結果が視認しにくい。次年度に向けての改善策や対策は理解していると感じたが、目標の根拠を明確にすべき。</p> <p>田富小学校は非常に丁寧で教職員の評価まで踏み込んでいる点は感心する。学校の目指している方向もよく分かる。一方で、より要約された分かりやすさも必要。</p> <p>田富北小学校は全体像(グランドデザイン)が見えず、記述が抽象的。具体的かつ統括的な課題設定を求める。</p> <p>田富南小学校は全体としての課題のまとまりに欠け、次年度の具体的施策が判然としない。</p> <p>豊富小学校は言葉・体系ともに整理されており、目指す方向と対策が非常に分かりやすい。</p> <p>玉穂中学校は分析、改善策、方向性のすべてが具体的。学校の実態、校長の目指す方向がよく分かる。学校評価の本来あるべき姿である。</p> <p>田富中学校は否定的なアンケート結果への考察が欠落している。学校全体の課題を整理し、次年度に向けてどのような目標を設定するのかといった総合的な評価が欠けている。</p> <p>玉穂中学校の優れた事例を見本とし、各校が共通の認識を持って評価を進めるよう指導していく。アンケート数値のみならず、校長自身が日々の教育現場(挨拶、授業の様子等)で把握した実態を課題に反映させたい。</p> <p>「実態把握 → 課題抽出 → 改善策 → 次年度目標」という一貫した体系を構築するように、指導していきたい。</p>
委員	<p>玉穂中学校の報告書は、校長の経営方針が反映されているだけでなく、過去との経時的比較が唯一なされており、非常に説得力があった。</p>
教育長	<p>各学校長は他校の学校評価報告書を見ないのか。</p> <p>全校への指導は各校の評価方針もあり困難である。まずは中学校区を単位とした報告書の適正化を進めたい。具体的には、玉穂中学校長に玉穂地区の小学校の把握・連携</p>

<p>委員</p>	<p>を依頼する。将来の入学者である小学生の課題を、中学校側が早期に把握することは極めて重要だからである。田富地区についても、私から直接田富中学校長へ働きかけをしたい。</p> <p>田富中学校の『肯定的回答が高い項目』において、保護者アンケートの番号 31 と 32 の内容が、本来の設問とは全く異なるものになっている。他校でも誤字等が見受けられる。</p>
<p>教育長</p>	<p>次年度に向けて見直しを促していく。田富中学校の考察には『生徒の規範意識が高い』とあるが、アンケート結果との乖離がある。重要なのは、その認識の差を『どう埋めるか』というプロセスであり、それこそが教育の本質である。各校には現状をさらに深く洞察し、自己認識を深めていただきたい。既に玉穂中学校では、こうした客観的な自己分析が行われている。報告書の形式を整えることが目的ではない。実態を正確に把握し、将来の改善に直結する真摯な内容を作成するよう、各現場の先生方をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>学校評価は各校のホームページで公開されているが、教員が他校の内容を確認し、自校と比較検討する機会は少ないのではないかと。各校の特色が出るのは良いことだが、第三者に伝えるという視点については、未だ不足している点がある。他校の事例も参考にしながら、学校の実態が正しく伝わり、将来の改善に繋がる真摯な報告書を作成していただきたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>学校評価の報告書は学校運営協議会に諮るものであり、委員の意見をいかに学校改善に繋げるかが肝要である。教員だけでなく、委員による積極的な提言を経てこそ、実効性のある報告書となる。質の高い報告書は、協議会が学校に対して適切に評価・提言を行っている証である。5月から始まる今年度の協議会においても、こうした建設的な連携が深まるよう働き掛けていきたい</p>
<p>委員</p>	<p>玉穂中学校の評価総括は、経年比較が容易で最も整理されている。昨年度の評価に基づき、次年度の指導重点に「心の声を読み解く」といった具体的目標を掲げるなど、課題の焦点化と具現化が極めて明確である。このように前年度との比較から改善を図る視点は、評価において不可欠である。</p> <p>本市の学校評価において双璧をなす田富小学校と玉穂中学校は、それぞれ手法が異なる。田富小学校は実践レベルまで細かく規定して目標を明確にする一方、玉穂中学校は上位目標を提示し、具体策は現場の教員の裁量に委ねる形をとっている。目標を細分化して教員の判断余地はなくすか、上位目標を掲げて現場に余力を残すのか。田富小学校は、そのバランスを再考すべきである。</p> <p>田富中学校については、分析結果を領域ごとに整理し、次年度への改善点をより明確に示す必要がある。三村小学校のように三者の評価を併記し、領域ごとに大きくまとめる手法は、可視化の観点から非常に優れている。項目を羅列する場合は、学校教育目標から指導重点、さらには学校独自の特色へとつながる論理構成が求められる。</p> <p>また、アンケートの数値化だけでなく、数値に表れない「見えない学力」や教職員が感じている部分を、管理職がいかに文言化できるかが手腕の見せ所である。これこそが学校の特色となるべき部分だが、現状では経年変化や特色の明記が不十分な例が見</p>

<p>教育長 委員 委員 教育長</p>	<p>受けられる。 学校評価は外部公開が前提である。八校会においては、他校の評価を積極的に参照し、自校の不足を確認するよう指導していただきたい。特に双壁をなす玉穂中学校と田富小学校を指標とし、実態把握と改善に直結する真摯な報告書作成を求める。 小学校に関しては、豊富小学校がわかりやすく、適していると思うがいかがか。 田富小学校は、目標を細分化しすぎており、細かく規制してしまう部分がある。 田富小学校は、実践していることを上手くまとめて記載してほしい。</p>
<p>委員 教育長</p>	<p>八校会で話し合うという意見が出たが、中学校単位で、小中学校が連携してブレーンストーミングを行うよう働きかけたい。教育委員会の意見も申し伝えるので、その中で改善を進めていければと思う。ご承知おき願いたい。 学校評価のアンケートにおいて、田富南小学校の保護者から「子供が平等に扱われていない」との意見が2件出ている。他校ではこのような意見は見受けられないので、そこが気になった。</p>
<p>教育長</p>	<p>承知した。学校には伝えておく。 学校評価については、以上とする。</p>
<p>事務局 教育長 委員</p>	<p>(2) その他(報告事項) ○学校運営協議会への出席について 教育総務課長より日程調整は次回行う旨を説明 何か質問あるか。 特になし。</p>
<p>事務局 教育長 委員</p>	<p>○令和8年度人事異動等に伴う教育委員会職員について 教育総務課長、生涯教育課長より説明 何か質問あるか。 特になし。</p>
<p>教育長 委員</p>	<p>その他何かあるか。 特になし</p>
<p>教育長</p>	<p>5. 閉会 これをもって、4月の定例教育委員会を閉会する。</p>